

日本ビオトープ協会 2020

ビオトープ No. 46

特集「生き物の豊かさを育むビオトープ」



ポタニカルガーデン アートビオトープ「水庭」
(栃木県那須塩原市)
写真 櫻井 淳 氏 提供



特定非営利活動法人

日本ビオトープ協会

巻頭言

自然体験の豊かさを育むビオトープ

矢ヶ崎 朋樹 1

特別寄稿

神奈川県におけるマイクロプラスチック調査

加藤 洋 2

シリーズ連載

今さら聞けないエス・ディー・ジーズ(SDGs)・・・
その1「SDGsとビオトープ」

野澤 日出夫 6

会員・BA等投稿

植物界の「災害遺産」ミズアオイを知る
連続ワークショップ・スタッフ参加報告

中川 美知子 8

ボタニカルガーデン アートビオトープ「水庭」

櫻井 淳 12

協会活動状況

各地区委員会(8地区)活動 計画・報告等

各地区委員長 14

連載コラム

里川のゆくえ

その2 明るい緑道と闇の排水路

立川 周二 16

◇表紙・裏表紙写真の説明◇

・表紙「ボタニカルガーデン アートビオトープ『水庭』」

栃木県那須塩原に創出。森から移植された360本の大径木と160の池により新たな景観が生まれた。

※詳細はP.12,13をご覧ください。

・裏表紙「エゾシマリス」

北海道では平地から大雪山の山頂付近まで見られる。本州で見られるのは、ペットが逃げ出し野生化したチョウセンシマリスである。

撮影：内海千樫氏

北海道 幌加内ビオトープ研究会代表、日本ビオトープ協会会員、幌加内町在住

